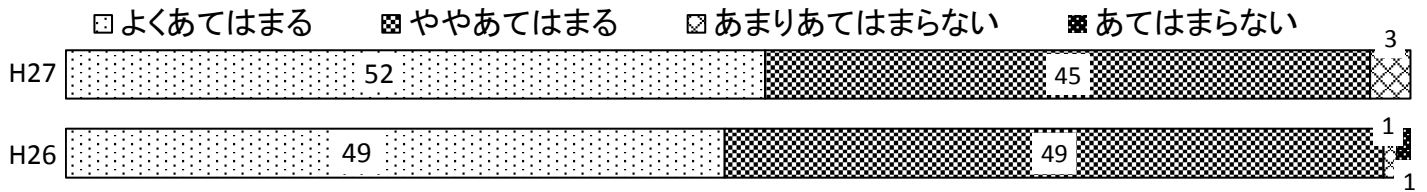


学校評価 保護者アンケート 集計結果

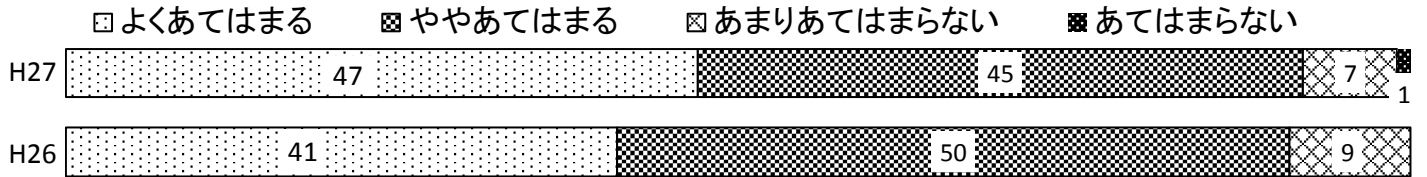
回答数209/330家庭 (63%)

1 確かな学力について

①学校は、子どもたちが互いの考えや思いを伝え合い、豊かに表現する学習の場面・機会を増やそうと努めている。



②学校は、宿題や面談などを通して、家庭と連携して基礎・基本の定着を図ることに努めている。



<コメントより>

- ・毎日出される宿題が家庭学習の習慣化にとってもよかったと思っています。
- ・家庭学習を一定に行っているようです。
- ・ぼっちりんは自分で考えて課題に取り組む素晴らしい機会となりました。苦手なところを頑張りました。
- ・発表の機会が多く、人前で話す良い練習になっていると思います。基礎的な学力が今のところついているようです。
- ・同学年であっても各クラス、担任で教科の進捗状況にばらつきがあるようなので、連携してほしい。
- ・宿題を通して、現在習っている学習だけでなく、自分が興味をもった事を調べたり、知る機会になったと思います。
- ・自学ノート等、コメントをもらうことで自主学習に意欲的に取り組む様子が見られる。

小学校は、園生活から学校生活へ移行する入門期に始まり、中学生へ向けてと大きな成長を遂げる大切な6年間となります。学校では、この6年間で子どもたちにつけたい力を、学年単位を中心として指導しています。入門期から低学年の時期に大切なのは各教科の礎となる基礎基本の定着、学校及び家庭での学習習慣の確立です。中学年からはそれらの力を用いながら、探究・問題解決学習をしていきます。高学年では自分自身を省みながら、必要なことを補ったり、興味関心のある事柄を追究したりする学習に取り組み、将来の進路選択や中学校での定期テストに向けた学習の進め方がわかるようになればと思っています。

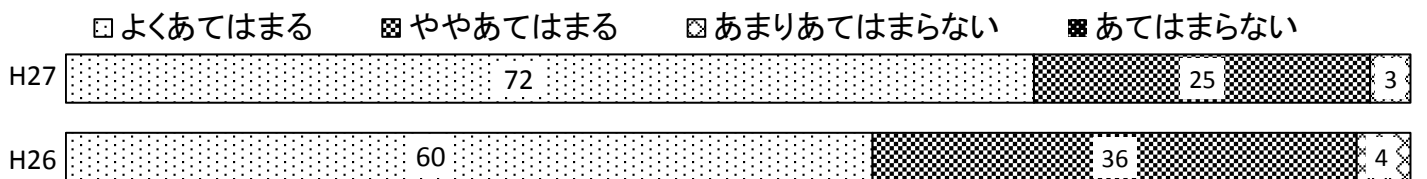
学校での学習を定着させるために、家庭での復習が大切です。その点について、ご理解、評価いただきました。

宿題の内容は各学級同程度になるようにしていますが、各学級の児童の実態により、担任が軽重をつけることがあります。学習進度についても同様で、研究授業等で進度に差が出る場合がございますが、調整をしていきます。

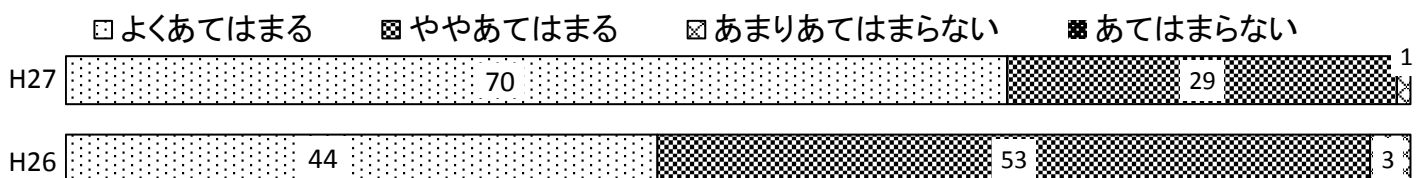
児童が主体的に学習に参加するよう、思いや考えを伝えあう学習を今後も推進していきます。

2 豊かな心について

③「たてわり班」での活動は、上級生や下級生とのかかわり方を学び、自分の役割や相手の立場を考える貴重な場になっている。



④学校は、さまざまな交流活動を通して、ともに学び合う姿勢を育て、感性や情操を育てる努力をしている。



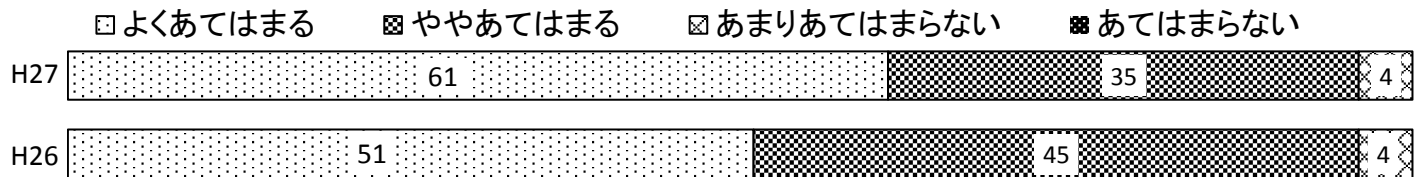
<コメントより>

- ・たてわり班での活動は、他学年とのかかわりの中でいろいろなことを学べる貴重な時間だと思います。次の学年への憧れをもてるきっかけになると思います
- ・中丸オリンピックやふれあいコンサートなどで、他学年の競技や演奏を見る機会がたくさんあり、感動とともに、下級生の目標や憧れになっていることは貴重なかかわりだと思います。
- ・子どもとの会話の中で自然と上級生の名前が出てきて話ができたと。あこがれの存在であることが伝わった。
- ・運動会で未就学児の徒競走でどのようにゴールを目指すか目線を合わせて教えている姿に感動しました。
- ・お話の森で異学年の子どもたちが仲良く活動している様子が見られた。
- ・前年度に比べ、たてわり給食の回数が減ってよかった。給食以外の交流は楽しいようです。

本校の特色の一つである「たてわり活動」では、各学年に応じた役割を果たし班の一員としての自覚が育てられました。保護者の皆様からも思いやりや協力、上級生に対しての憧れ等を感じられる貴重な場として評価して頂きました。おもてなし集会では、青空子ども委員会が中心になり感謝川柳を募集し、かるたづくりをするなど当日の地域の方との活交流を楽しむだけでなく目的意識をもって当日までの活動も取り組みました。土曜活用「親子で読書に親しむ日」、「邦楽に親しむ取組」等保護者、地域の皆様の協力により様々な経験を積み重ね子どもたちの感性を高めることができました。これからも豊かな心を育てる取組を進めていきます。

3 健やかな体について

⑤学校は、子どもの体力向上や健康の促進に積極的に取り組んでいる。



<コメントより>

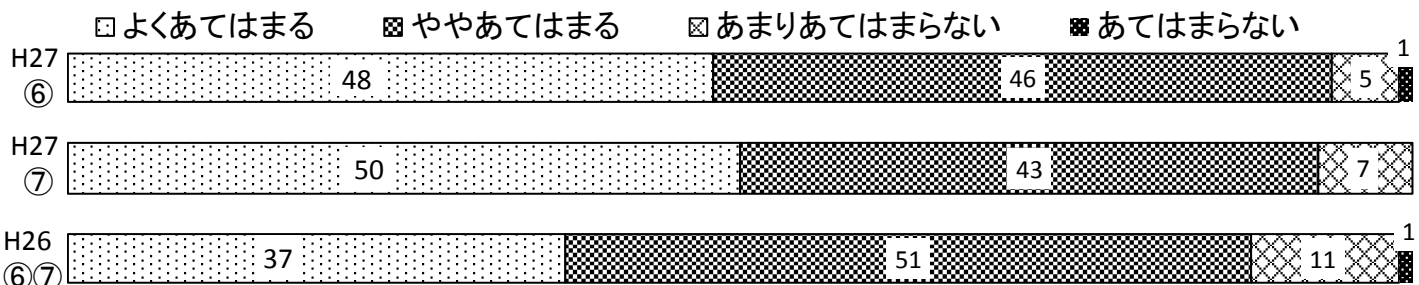
- ・ロング昼休みの活用はこれまで通り続けて欲しい。
- ・小学生の体力作りはとても大切だと思うので、学校の全校生徒で積極的に進めてほしいです。
- ・元々スポーツは好きではないが、取組を通して強制的ながら体を動かし、ゆっくりですが体力の向上が感じられます。
- ・自分のペースで取り組めるように配慮してくださっているので、苦手意識の強い子どもでも少しずつ取り組めるようになってきた。
- ・日頃より運動不足を感じています。マラソンが取り入れられて効果を期待しています。
- ・苦手な体育を年々好きになっています。

年間を通して「体力アッププロジェクト」と題し、子どもたちの体力向上への取り組みをしてきました。運動委員会を中心となり、「エンジョイランニング」「体力テストチャレンジ」など、全校児童が運動に親しむことができる新たな企画を考え、友達とかかわり合いながら、運動することの楽しさを実感できるように工夫してきました。また、昨年度に引き続き、体育科の授業を重点研究とし、様々な運動領域の授業を職員が参観をし、基礎的な指導方法はもちろんのこと、より体力を高めるための指導方法を研究し、授業の中で学んだことを休み時間や日常で活用する「日常化」に向けて進めてきました。

4 児童指導について

⑥学校は、子どもの話をよく聞き、一人ひとりを理解しようと努めている。

⑦学校は、不適切な指導(言葉の暴力や体罰等)をせず、子どもに寄り添うとともに、いじめの未然防止に努め、相談に対して丁寧に応じている。



※H27はH26の設問を2つに分けています。

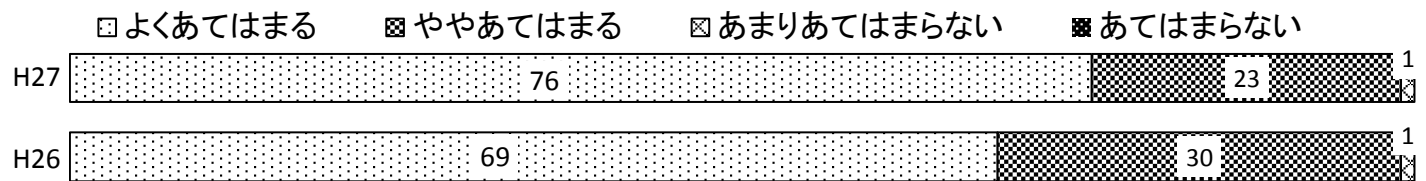
<コメントより>

- ・先生方が児童一人ひとりの顔と名前をよく覚えてくださり、お声かけや挨拶など少しの機会でもよく向き合ってください。担任の先生以外の先生の話をするのもあるのでコミュニケーションがあるのだと感じています。
- ・子供にたくさん声をかけてくださっている。孤独を感じない環境作りが自然にできている。
- ・子どもが問題を起こしたとき、先生はなぜそうしてしまったのか子どもの気持ちに寄り添って話を聞いてくださり、丁寧な対応に心をうたれました。
- ・子どもの話をよく聞き理解に努めている。内容については少し不安がある。

保護者や関係機関と連携を図り、「中丸子ども会議」や「SNS安心教室」等を開催しよりよい人間関係づくりに努めてまいりました。個人面談などで学校生活の様子を伝え、相談にも応えられるように心がけてきました。さらに子どもに寄り添い支援を続け、担任にとどまらず専任や養護教諭など話しやすい環境を整えていきたいと思ひます。また、問題が起きたときは、早期発見、早期解決をめざし、組織的な対応を今後も心掛けていきたいと思ひます。いろいろな活動の中で感じた達成感や充実感が、自己肯定感や自己有用感を高めます。そして自分を大切にする心から自分と同じように友達を大切にする心を育むことを通していじめの未然防止つなげていきます。

5 学校の安全について

⑧学校は、学援隊やPTAによる見守り活動を充実させ、交通安全や不審者対応など、子どもたちの安全にかかわる環境を整えている。



⑨学校は、子どもが自分の安全を守るための行動が身に付くよう、避難訓練等を充実させている。



<コメントより>

毎朝・下校時、先生方や学援隊の皆さんのおかげで安心しておくりだせます。子どもたちも見守られている安心感があるのだと思ひます。

「いざという時の行動や心構え」を場面を想定し、わかりやすい言葉で伝えていたことが印象的でした。また、先生方の安全に配慮した行動が事故を起こさせない環境を作っていると感じます。

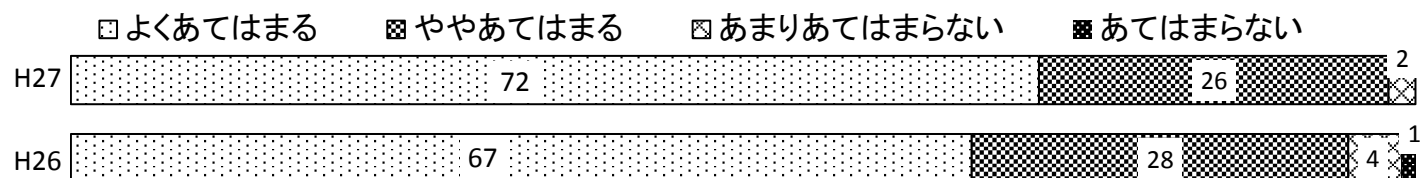
学援隊の申込み欄に「いつでもどこでも」の項目が増え、よかった。登下校の見守りを通して、子どもの様子とかかわり合いを見るよい機会になった。

今年度、本校は横浜市安全教育推進研究校に指定され、「地域と連携した防災教育の充実」をテーマに、「防災」に関する時間のカリキュラムの見直し、毎回の訓練の学びの質の向上を図ってきました。前年度に続き、2回目の実施となった土曜授業「親子で防災について考える日」では、ゲストティーチャーと協働したり、登校班の地図を見ながら図上訓練を行ったり、と普段の心構えについて考えを深めることができました。12月にはリスクコミュニケーター長谷川祐子さんを招き、「防災授業」を行いました。具体的な災害の場面想定の実験を通して、学びを深めることができました。1月・2月には緊急地震速報を訓練に使用し、抜き打ちの訓練を行った。その場で判断して行動することがいかに難しいかを児童も教員も再確認することができました。

「地域」の防災に対する意識の高さが顕著にみられる中丸小学区。今後もより一層の連携を図っていききたいと思ひます。合わせて児童の学援隊さんへの挨拶についても、指導の充実を図っていきます。

6 最後に

⑩子どもは、中丸小学校のことを「好き」と言っている。



<コメントより>

- ・1年間、わが子たちは楽しく元気に通学してくることができました。本当にうれしく思います。今後どうぞよろしくお願ひします。
- ・子どもは中丸小学校を「大好き自慢の学校だ」といっています。
- ・みんなが良い学校にしようとし、親が安心して子供を学校に託せる環境になるよう努力していることが実感できるすばらしい学校。親子ともども先生も学校も大好きです。
- ・子どもが卒業してしましますが、協力できることがあれば是非させていただきたいです。中丸小に通えてよかったと思える素敵な学校です。